

《山形県 英語弁論大会》

標記大会が、平成30年9月27日(木)、米沢市の「伝国の杜」置賜文化ホールを会場に開催され、県内4つの地区大会を勝ち抜いた18名がそれぞれの考えを英語で主張しました。本校からは、2年生1名・1年生1名が出場し、以下の通り好成績を収めました。

第3位 古山 萌子(2年)

My Challenge to Time- Thieves ~時間泥棒への挑戦状~

ミハイル・エンデ作『モモ』からヒントを得て、「時間とは人間にとってどのようなものなのか?」というテーマを考察したスピーチ。1年間西高を休学し、ドイツへ留学した様々な経験から、どのように時間が流れるかは、どのように私たちが生きるかということに直結していると主張しました。

文学作品のテーマと自分の経験を比較しながら考察したという点で、ユニークな弁論であったと思います。地区大会後、発音やイントネーションに磨きをかけ、より内容にあった表現に仕上げました。

特別賞(Creativity Prize) 小林 桃子(1年)

Why not Madonna Japan? ~マドンナ・ジャパンを知っていますか?~

日本女子野球ナショナルチームにつけられたニックネーム「マドンナ・ジャパン」。過去5回も世界一になっているのにそれ程知られていないのはなぜ?自らの経験や他国との比較を交え、女性と男性が互いに社会参加し注目される社会がさらに実現することを願う気持ちを表現したスピーチです。

地区大会後、内容がより分かりやすくなるようタイトルを工夫しました。発声の仕方やアクセントの位置、自然なジェスチャーにこだわって仕上げ、当日は最終弁論者として堂々と発表しました。

